

横尾 光広さん

(鹿沼市 平成23年度修了生)

「自家産和牛の直売施設導入による経営改善」

1 ビジネススクール受講の動機

「自分で生産した和牛を自分の手で売りたい」という家族の思いとともに、和牛肥育経営の3代目として経営を引き継ぎ、いつか家族で和牛の精肉店を持ちたいと漠然と考えていたところ、「とちぎ農業ビジネススクール」の研修を知り、その思いを実現するための知識などが学べるのではないかと考え、受講することになりました。



2 スクール受講中と修了後の経営改善

- 平成24年度から、精肉店の事業化に先立ち「総合化事業計画（6次産業化計画）」の認定を目指し、ビジネススクールで取り組んだ、和牛直売事業を核とする「経営改革プラン」をベースとして、栃木県農業振興公社の6次産業化プランナーの指導等を受けながら、具体的かつ実践的な計画づくりを開始し、平成25年6月に国からの計画認定を受けました。
- その後、約1年間の準備期間を経て、平成26年5月に弟を責任者とした自家産和牛の直売精肉店である「牛屋の肉屋よこお」をオープンしました。
- 平成25年11月には多角化する経営の発展等を目的に法人化を進め、「株式会社ファーム横尾」として、自分が代表取締役兼肥育部門担当、弟を精肉直売部門担当として、役割分担を図りながら経営に取り組んでいます。
- 和牛生産農家が直接販売することにより流通経費等を抑えた比較的安価な和牛を提供することができており、これまであまり和牛を口にすることのなかった地域の購買層にも、和牛のおいしさなどが理解され始めていると考えています。

3 ビジネススクールを受けたメリット

経営者としての心構え、経営管理、マーケティング等に関する知識の必要性を実感するとともに、専門的な助言を受けながら主体的に経営改革プランづくりを進めたことで、総合化事業計画の策定をスムーズに進めることができました。